

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり No.65

第49回広島県PTA研究大会 東広島大会を開催しました！



東広島大会 実行委員長
佐々木 健作

～ 広島県PTA研究大会 「東広島大会」 を終えて ～

初の午後から開催、初のオンライン開催で東広島市から発信し、「楽しもう！子どもとともに」～子育てのこの時に～を大会スローガンに掲げ、県内各地域の参加者の皆さんをZoomで繋ぎ開催することが出来ました。2020年、第48回の呉大会が中止となり、1年後の見通しは不明で、どうにか開催出来る方法を考え、集まる事も躊躇しながら、オンライン会議も使い議論し、県内17ヶ所をオンラインで結ぶ、リアルとオンラインのハイブリット方式で進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により大会直前に方針が変わり、サテライト会場は中止、個人参加に変更になり、関係者の皆様には、ご負担とご苦勞お掛けしました。初めて尽くしで、前例踏襲に囚われる事が少なく、自由な発想で本大会の企画立案する事が出来ましたが、反面コロナ禍の真っ只中で、私達の生活様式は大きく変化し、子ども達を導き育てるPTA活動も延期や中止、自粛を余儀なくされました。子ども達の大切な時間が過ぎ去っていく中で、子ども達の学びと同時に、大人の学びも止めてはならない、立ち止まってはいけないとの思いで大会を開催する事が出来ました。事実、緊急事態宣言中で開催の賛否もありましたが、会場は最小限の人数と感染症対策を実施しながら、しばらくは、これがスタンダードになるであろう、無観客、オンラインの開催という貴重な体験、経験をさせていただきました。今後、このスタイルがスタンダードとなり、GIGAスクール構想が進む中、子どもさんと一緒に、新たなスタイルの学びも感じてもらえたらと思っています。記念講演では、ワークなどもあり、心のコリが取れたり、ほぐれたり、毎日の子育てに実践出来る内容をご自宅に居ながら届ける事が出来ました。初めての試みが多く、実行委員の皆さんには、かなりの、ご負担と、ご苦勞をお掛けしたのではないかと思います。素晴らしいチーム、メンバーに恵まれ、大会を開催する事が出来ました。考えて主体的に行動し形にする、こういった姿を見せるのも親の役目。そして、PTA活動の役割の1つだと学びました。今はコロナ禍でPTA活動は微力かもしれませんが無力ではありません。考えれば出来る事は沢山あります。PTA活動だから出来る事、本大会も、開催した意味と価値があります。学びの基本は家庭にあり。親の学びが子どもの学びの幅を広げてくれると信じ、歩みを続けてまいります。最後に、大会開催にあたり、各関係団体、各関係機関の皆様の、ご協力に感謝申し上げます。子ども達の笑顔が未来永劫、続きますように。そして、それを支える皆さんの笑顔が、続いていく事を願っています。本当にありがとうございました。

第69回日本PTA全国研究大会北九州大会が開催されました(2021年8月21日(土))

新型コロナ感染症拡大に伴い、昨年の全国大会富山大会は中止となり、今年度は例年と違う1日開催、そして完全オンラインでの全国大会となりました。前例の無い中、大会実行委員会もリモートを活用し、開催内容を模索しながら、無事大会当日を迎えることができました。

～オンライン視聴された会員の感想を掲載します～

- ・ゲストがおっしゃっていた「共育」が一番大切でまさにPTAの存在意義だと思います。学校と連携して「誰一人取り残さない」との考えを親自身がしっかりと認識し、PTA活動に取り組まねばならないと思います。
- ・「共育」という言葉にとっても共感することができた。
地域でのつながりや家庭同士でのつながりが希薄化する中で、教育現場だけに子供を押し付けるのではなく、地域コミュニティ全体で子供を育てる環境の再構築が必要と感じました。PTAというより、地域コミュニティと保護者・教育現場で支えるという発想が必要では。
- ・大会を視聴し、コロナによるマイナス面だけではなく、教育の可能性が大きく広がったと感じました。
- ・PTAの役員を受けることは面倒くさいと思われていますが、何かしら自分にプラスがあると思います。
親も活動し学んでいく「共育」、保護者にも当事者意識が必要ですね。
- ・WEBでの参加は初めてだったのですが、とても分かりやすく、楽しく参加することができました。
- ・保護者にとっては日P大会に出向くのはとても負担です。ぜひデジタル化してほしい。



トークセッションの様子

第51回日本PTA中国ブロック研究大会島根県益田大会が開催されました(2021年11月6日(土))



大嶋啓介さんの講演風景

令和3年11月6日(土)に第51回 日本PTA中国ブロック研究大会 島根県益田大会が「元気な家庭！元気な学校！元気な地域！～つろうて 子育て 清流の若鮎のごとく～」のスローガンのもと開催されました。

コロナ禍の影響もあり、益田市の会員以外はすべてWEB配信という方法で行われました。

記念講演では株式会社てっぺん創業者の大嶋啓介様をお迎えしました。居酒屋てっぺんの本気の朝礼が有名で、年間1万人以上が見学に訪れ、企業だけでなく、中学生や高校生の修学旅行のコースになるほどです。

子どもの可能性を最大限に伸ばすことを大切にしている内容で、向上心を育ててやる気になる。また本気スイッチが入るといった感想が実際にメンタル研修を体験した子ども達からもあるほど心に響くお話で、子ども達を支える立場の保護者や先生にとっても参考になる素晴らしい講演でした。

実践発表では「子供と取り組むメディアコントロール」「コロナ禍でできたこと、できなかったこと」「国宝松江城堀川の水環境保全活動を通じた官民学地の協同型ふるさと教育推進プロジェクトについて」など現代の課題に適合した素晴らしい取り組みの発表がありました。

また11月5日(金)には中国ブロック協議会が行われ、中国5県1市のPTA団体が集い、次年度の中国ブロック大会についての協議や情報交換が行われました。

来年度は鳥取県倉吉市にて開催されます。ぜひご参加ください。



島根県益田大会 開会式

(広島県PTA連合会 副会長 藤井裕久)

「楽しい子育て全国キャンペーン」
 ～家庭で話そう！ 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩
 令和3年度「広島県PTA連合会賞」受賞一覧

三行詩にご応募いただきありがとうございます。広島県PTA連合会内での選考により小学生の部・中学生の部・一般の部の優秀賞を決定しました。

小学生の部

学校名	学年	名 前	作 品
庄原市立東小学校	2年	岩崎 薫	本当は 一人でぜんぶ読めるけど「読んで。」とお母さんのひざにすわる 本の時間
三次市立酒河小学校	2年	佐々木桃佳	おねえちゃんがおかあさんにギュッとすると、いもうともおかあさんにギュッとする。 みんなでなかよしルンルン。
福山市立山南小学校	6年	山邊 奈月	「いってらっしゃい」その一言は私にとって 前へ前へと 進むガソリン
福山市立山南小学校	5年	立山 芽依	お父さんもお母さんもすぐおこる だけれどそれは 私の未来のためなんだ なんだかんだいってやさしい私の家族 幸せだな
福山市立道上小学校	3年	村上 琳星	おこっても いつも夜には なかなかおろいっしょにぎゅぎゅ お母さんのぬくもり あたたかいな

中学生の部

学校名	学年	名 前	作 品
庄原市立西城中学校	2年	丹波さりり	「見て見て～」と 私が産まれたときの写真を見せてきた母。 一番かわいいのは、 ニコニコしながら写真を持つ母。
三次市立布野中学校	3年	東 愛華	昔より口数へってさみしいけど 思いかえすと強く思う 昔にもどりたいなーって。
庄原市立西城中学校	3年	主田 志乃	テレビの音楽番組でいつも歌う母。 正直うまいか分からないけど、 母と見た方が何倍も楽しいよ。
庄原市立西城中学校	3年	藤田 尊華	「いってきます」「いってきます」 私は決まって2回言う。 1つは家族に、もう1つは家に。
三次市立布野中学校	3年	箕岡 玲音	家に帰るとホッとする 朝から晩まで働く母の 置き手紙

一般の部

学校名	名 前	作 品
三次市立酒河小学校	仲本 友美	寝返りも打てない 私の両隣 自分とよく似た2つの寝顔 夏は暑くし蹴られるし 寝不足だけど幸せだ
庄原市立東小学校	中野 泰子	家族でね 一緒に成長できる幸せ これが母の宝物
庄原市立永末小学校	松井 利佳	おとなびた 時折曇る 横顔に 幼き頃の 姿重ねる。

学校名	名 前	作 品
庄原市立西城中学校	佐々木 楓	私が どんなに辛くても 苦しくても これだけは食べられた いつも そっと机に置いてある 母のおにぎり
呉市立天応中学校	荒森 圭子	「マスクはすして」「キョリとって」 不安が大きい 今だから 心のマスクは はずしていいよ

※受賞作品は第一次審査通過作品として、日本PTA協議会で審査が行なわれましたが広島県からの受賞はありませんでした。



「食と地域の気候風土を考える」

今年11月、ある新聞朝刊で、「干し柿 里の秋に彩り」という見出しの記事を見付けました。尾道市御調町菅野地区の尾道柿園で、干し柿づくりが最盛期を迎えているという内容で、「陽光を浴びて甘みを増す干し柿」のカラー写真も掲載されており、季節を感じる記事でした。干し柿づくりは、10月下旬に作業を始め、12月半ばから約30,000個を出荷することです。標高300メートルにある菅野地区は、霧が出にくく乾燥させやすいため、正月飾り用の串柿作りが盛んだったそうです。尾道柿園社長の宗八重子さんは、「昔ながらの風景を眺めながら味わって」と来訪を呼び掛けていました。

この記事から、食料の生産や加工は、それぞれの地域の気候風土と深く結びついており、それらの特質を理解し継承・発展させていくことが重要であると、あらためて思いを深めました。

毎年、我が家でも、干し柿づくりをしています。尾道柿園の30,000個には遠く及びませんが、今年も畑の隅の柿の木から獲った180個の柿の皮を剥き、物干に吊るしました。ささやかですが、陽光を浴びた干し柿のカーテンが、秋から冬への季節の移ろいを彩ってくれています。

さて、「陽だまりNo.64」でお知らせしました「ひろしま給食」メニューについて、広島県産の小松菜、白ねぎ、大根、はっさく、小いわしの5品目を指定食材として、募集を行いました。3,477作品の応募があり、広島県PTA連合会をはじめとする関係団体、協賛企業、栄養教諭等による書類選考を行い、10月の県民投票によって、「ひろしま給食」統一メニューは、「あんかけおにぎりで広島じゃんじゃん食べようや！」に決定しました。広島県教育委員会のホームページにおいて、12月上旬にメニューのレシピを紹介し、来年1月中旬には、レシピ動画を掲載する予定です。ご家庭でも、お子さんと一緒に、「ひろしま給食」メニューを作ってみませんか。

(広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課)



第49回広島県PTA研究大会東広島大会が開催されました(2021年9月12日(日))

広島県PTA研究大会東広島大会を完全オンラインで開催しました。
実践発表は、府中市立栗生(くりぶ)小学校PTAと、大竹市立玖波(くば)小学校PTAが録画で行いました。

記念講演の講師に臨床心理士・公認心理士・社会福祉士である土居和子先生をお招きし、「今を生き抜く力をはぐくむための自己肯定感の育て方」と題して講演をいただき、講演中に保護者とオンラインでやりとりを行いました。

オンラインならではの広島県内各地の保護者とリアルタイムにつながり、土居先生の軽快な進行で、保護者同士の会話も弾みました。

土居和子先生、栗生小学校PTA、玖波小学校PTAのみなさま、ありがとうございました。



土居和子先生の講演で保護者との対話を実施



佐々木実行委員長(右)から山本会長(左)へ大会旗の引継ぎ

広報委員会 ～宜しくお願いします～

委員長 山田 洋子 (大竹市)
副委員長 永福まどか (豊田・竹原)
委員 西村 恵子 (東広島市)
岡崎 勇 (安芸高田市)
生田 真紀 (世羅郡)
原田 裕子 (三次市)



充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動など、
校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料!

団体割引30%
損害率による割引35%適用
メディカルアシストでお子様の
健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペットネームです。

この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。

詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。

この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和3年12月作成 募集文書No21-TC07074



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。

あいおいニッセイ同和損保

MSK AIO INSURANCE GROUP